

地域医療〈B2〉

オーガナイザー

地域医療支援センター 北野 尚美

教員名

教授 上野 雅巳, 非常勤講師 今中 雄一

講師 北野 尚美, 山野 貴司

I 一般学習目標

地域医療・地域保健の現状と課題を理解し、医師として求められる社会的役割を理解して、地域医療に積極的に参加・貢献するための能力を習得する。

II 個別学習目標

1. グローバル・ヘルスの枠組みとユニバーサル・ヘルス・カベレッジの保健システム、日本の社会保障制度と医療制度について概説できる。
2. 健康増進計画や保健医療計画に関わる保健統計等データと、地域医療に関わる各種評価指標について説明できる。
3. 医療の評価と経済性について理解を深め、基本事項を説明できる。
4. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、機能および体制を含めた地域医療について概説できる。
5. 地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間（行政を含む）の連携の必要性について説明できる。
6. 地域における救急医療、在宅医療の体制を説明できる。
7. 災害時における医療体制確立の必要性和、現場におけるトリアージを説明できる。
8. 和歌山県の二次保健医療圏について概説できる。医師の偏在（地域および診療科）の現状について説明できる。

III 教育内容

1. グローバル・ヘルスの枠組みとユニバーサル・ヘルス・カベレッジの保健システム
2. 日本の社会保障制度と医療制度について
3. 保健統計について
4. 健康日本21（第二次）と都道府県健康増進計画及びその分析評価について
5. 保健医療計画および地域医療構想について
6. 和歌山県における地域医療の現状と医療計画（二次保健医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携、災害医療等）（県医務課の協力を得る）

IV 学習および教育方法

講義と演習（グループワーク）

V 評価の方法

演習の時間内に進級に係る試験（筆記）を行う。評価は、筆記試験（80%）と講義・演習に臨む姿勢（20%）の点数が、60点または平均 $-1.5SD$ に該当する点の低いほうを合格基準として合否を判定する。なお、出席が2/3に満たない場合は、不合格とする。

VI 推薦する図書

1. 国民衛生の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
2. 国民の福祉と介護の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
3. 保険と年金の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
4. 公衆衛生マニュアル 2016 柳川 洋, 他 編集 南山堂 2016
5. 基礎から学ぶ楽しい保健統計 中村好一 著 医学書院 2016
6. 保健統計・疫学 福富和夫, 他 著 南山堂 2014
7. はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第2版 日本疫学会 監修 南江堂 2010
8. 地域医療テキスト 自治医科大学 監修 医学書院 2009
9. 健康長寿社会を実現する（「2025年問題」と新しい公衆衛生戦略の展望） 辻 一郎 著 大修館書店 2015
10. 第17巻 医療制度・医療政策・医療経済（シリーズ生命倫理学） 今中雄一, 他 編集 丸善出版 2013
11. 医療の質の定義と評価方法 Avedis Donabedian 著, 東 尚弘 訳 特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 2007

講義日程表

No	月 日	曜日	時限	項 目	担当
1	H30.6.28	(木)	4	医療経済学(医療の質と経済性の重要事項)	今中
2	H30.6.29	(金)	3	保健医療計画と公衆衛生	北野
3	H30.7.2	(月)	2・3	和歌山県の二次保健医療圏 ～データに基づく議論～ (グループワーク)	上野・北野・山野